

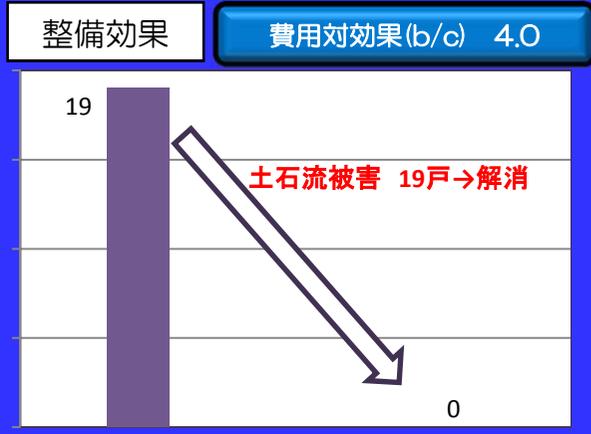
須坂建設事務所 砂防事業による整備効果事例

(砂)滝ノ入 上高井郡高山村 駒場 (通常砂防事業)

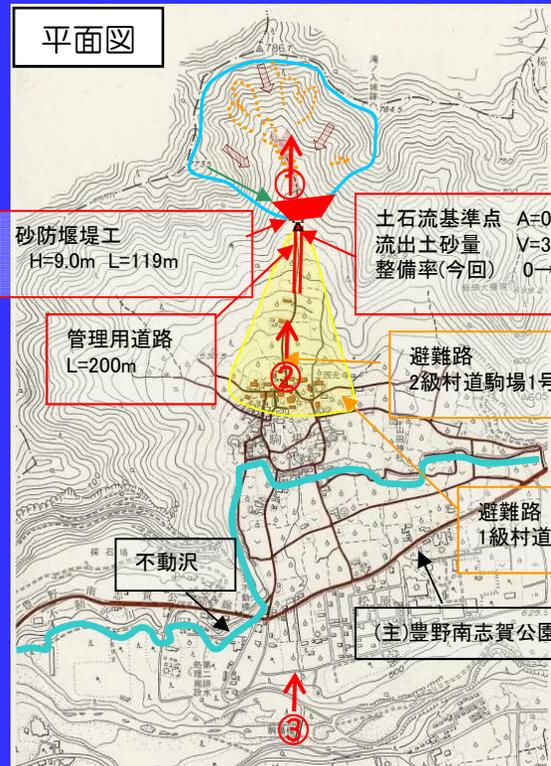
- 災害が発生した流域に対する対策
- 滝ノ入は土石流危険渓流であり、豪雨の際は巨礫混じりの土砂が流出しやすく、平成16年10月の台風23号の際は、人家直上まで土石が流出してきている。このため、土石流対策として堰堤を設置し、下流域の駒場集落19戸及び村道等を保全する。



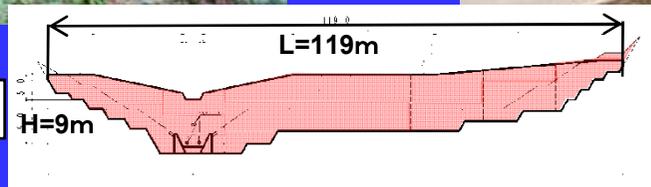
平成16年10月 台風23号による土砂流出



土石流災害警戒区域に19年3月に指定されており、このうち特別警戒区域（レッドゾーン）の解消がされ、人家及び避難路である村道の保全を図り、土石流災害を防ぐ効果が期待される。



構造図 (正面図)



須坂建設事務所 砂防事業による整備効果事例

(砂)滝ノ入 上高井郡高山村 駒場 (通常砂防事業)

【事業効果】

- ① 土石流から住民の生命財産を守っている。
【被災家屋数の減少 19件⇒0件】
- ② 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の解消【0箇所⇒1箇所解消】
平成25年の台風18号（過去に災害が発生した時と同等の降雨時）においても、土砂災害の発生はなかった。



【生活環境の向上】

- ③ 新たに建設された工事用道路を村道として存続利用（集落の生活道路）
【利用者 0人/台⇒20人/台】
- ④ 砂防施設が地域の「ランドマーク」として誕生



【その他、地域の利用】

- ⑤ 砂防施設完成時に児童による植樹祭が行われ、砂防施設と地域との繋がりが密接になった。

